

第5回テニュアトラック教員による 創発型シンポジウム ～叡智～

日時：2017年11月17日(金)

会場：東京農工大学 小金井キャンパス

入場無料

※意見交換会参加の場合は会費3,000円

13:00-15:50 シンポジウム

会場：11号館L1153

開会の挨拶

荻原 勲

(東京農工大学 理事(学術・研究担当)・副学長)

東京農工大学テニュアトラック制度の紹介

村田 章

(東京農工大学 テニュアトラック推進機構長)

テニュアトラック経験者による講演

加用千裕(東京農工大学大学院農学研究院 准教授)

吉田紀生(九州大学大学院理学研究院 准教授)

田中良和(東北大学大学院生命科学研究科 教授)

竹井邦晴(大阪府立大学電子物理工学科 准教授)

16:00-17:45 若手研究者によるポスターセッション

会場：科学博物館 3F講堂

18:00-20:00 意見交換会

会場：140周年記念会館(エリプス)

企画運営：東京農工大学 創発型シンポジウム実行委員会
後援：東京農工大学テニュアトラック推進機構



開催趣旨

平成18年度に文部科学省科学技術振興調整費によるテニュアトラック制がスタートしてから、テニュアトラック普及・定着事業を経て早11年が経過しました。東京農工大学でも平成18年度にいち早く全学でテニュアトラック制度を導入し、若手研究者の自立的な研究環境整備を促進しています。

テニュアトラック制度が全国的に定着してきたこともあり、最近では若手研究者の中でもテニュアトラック経験者の人数が増えてきました。若手研究者に関する問題は、テニュアトラック制度の問題点、テニュアトラック期間中の研究生活の悩みから、テニュアトラック終了後の研究環境、研究生活へ徐々にシフトしていると感じられます。また、これから研究者を目指す更に若い世代には、テニュアトラックは知っているがテニュアトラック終了後の研究生活への不安、若手研究者の将来の不透明感も抱えていると思います。

このような背景を踏まえ、今回のシンポジウムは、特に、テニュアトラック終了後の若手研究者にフォーカスし、テニュアトラック経験者に、研究活動や経験談をご講演頂きます。

また、東京農工大学では、年4回テニュアトラック教員によるインターディシプリナリー（異分野）交流会を開催しております。今回のシンポジウムは、本学のインターディシプリナリー交流会の拡大版とし、参加いただく若手研究者全員に、ポスターセッションを行って頂きます。過去のシンポジウムを踏襲した、若手研究者間の研究交流、人的交流もこのポスターセッションで実施致します。

全国の若手研究者の溢れる「叡智」を、東京農工大学で開催する第5回創発型シンポジウムで結集し、若手研究者の今後の研究が更に発展するような、活気ある会となることを目指します。

参加申込

研究者、学生、研究機関の関係者等、どなたでも参加できます。

Webからお申し込み下さい。

締切：10月17日(火) 17時

<http://web.tuat.ac.jp/~tuatgir/tt/tt-symposium2017/index.html>

シンポジウムWebサイト



ポスターセッションについて

以下のいずれかに該当する若手研究者は、なるべくポスター発表を行って下さるようお願いいたします。お気軽にご発表ください。発表要項はWebで公開します。

- ・テニュアトラック教員
- ・テニュア取得後3年以内の教員
- ・40才未満の研究者（学生を除く）

お問い合わせ

東京農工大学 創発型シンポジウム実行委員会
事務局（東京農工大学 研究支援課）

E-mail : wakate@cc.tuat.ac.jp

シンポジウム会場地図
(pdf)

